

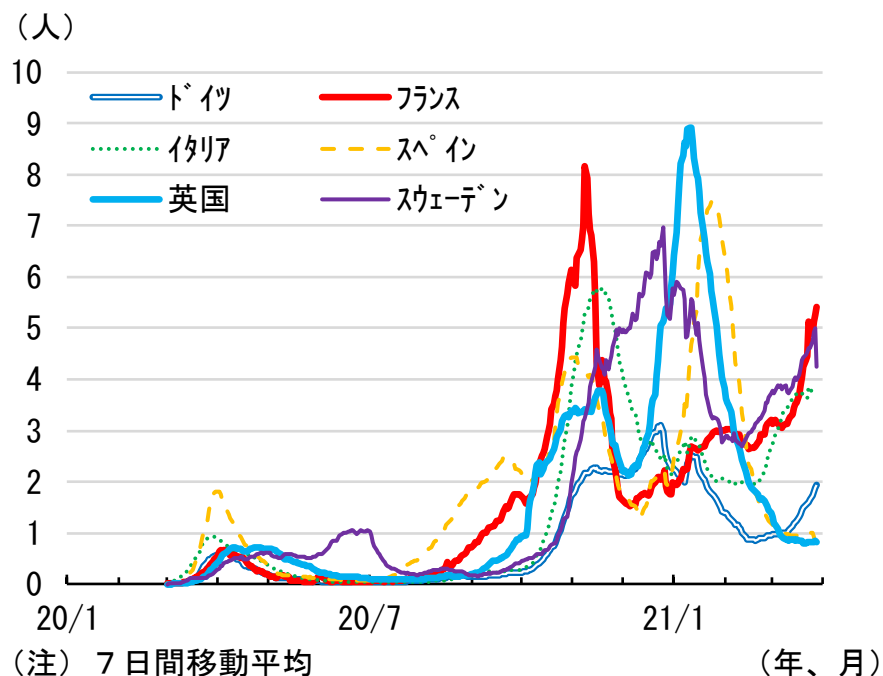
# 欧州景気概況 (2021年4月)

副主任研究員 土田陽介 tel: 03-6733-1628  
mail: [chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

# 新型コロナウイルスの感染状況

欧州における新型コロナウイルスの感染状況は、一部の国々(スペインや英国)で下げ止まりの動きが確認できる一方で、多くの国で感染が拡大している。各国は行動制限の強化・延長を図る一方で、ワクチン接種を進めている。反面で、段階的な緩和を模索する動きもある。

### 人口一人当たりの新規感染者数



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)及び英国民保健サービス(NHS)、国際保健機関(WHO)

### 主要国の行動制限の概要

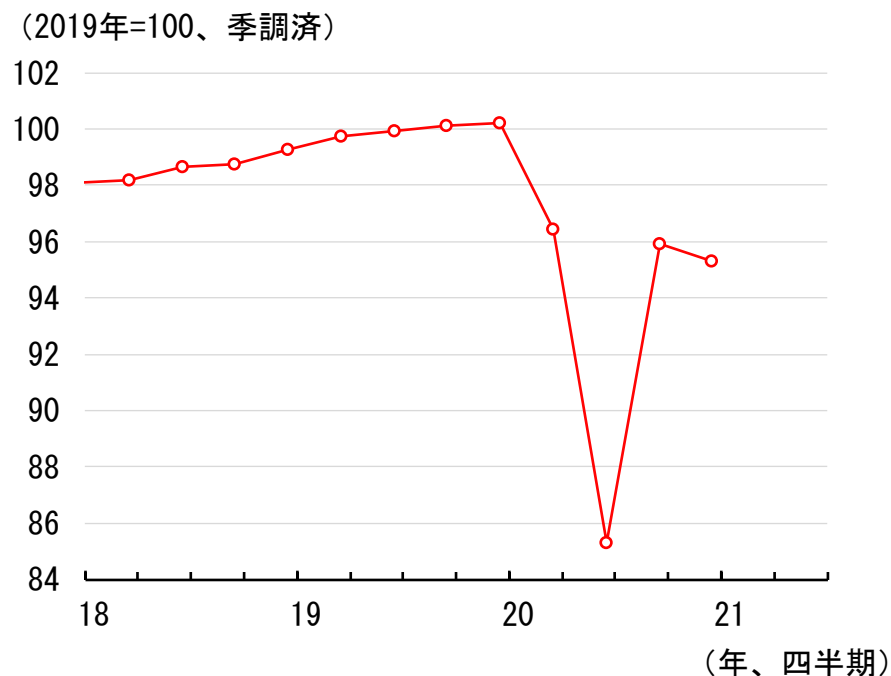
国名	内容
ドイツ	現行の全国的な封鎖措置を4月18日まで延長。美術館やジムなどの施設は引き続き閉鎖となる。4月1-5日のイースター休暇中は外出自粛が強く奨励されるほか、スーパーを含むほぼ全ての店舗が閉鎖。
フランス	パリを含む16県で3月20日よりロックダウンを実施。4月3日より全土に拡大。県外移動や生活必需品以外を扱う店舗の営業などを禁止。一方、全土で導入している夜間外出禁止は1時間短縮。学校は3週間リモート授業に。
イタリア	3月15日から、首都ローマや北部ミラノといった主要都市を含む過半数の州・地域でロックダウンを再び実施。生活必需品以外を扱う店舗の営業が禁止されるほか、飲食店の店内営業もできなくなる。4月6日までの予定。
英国	規制緩和の第一弾として、3月8日から学校を再開。屋外で異なる世帯の2人が運動以外の目的で会うことを許可。4月以降、生活必需品以外を扱う店舗や飲食店の営業再開などに進み、6月12日には全解除予定。

(出所) 各種報道

## ユーロ圏景気概況① 景気は停滞している

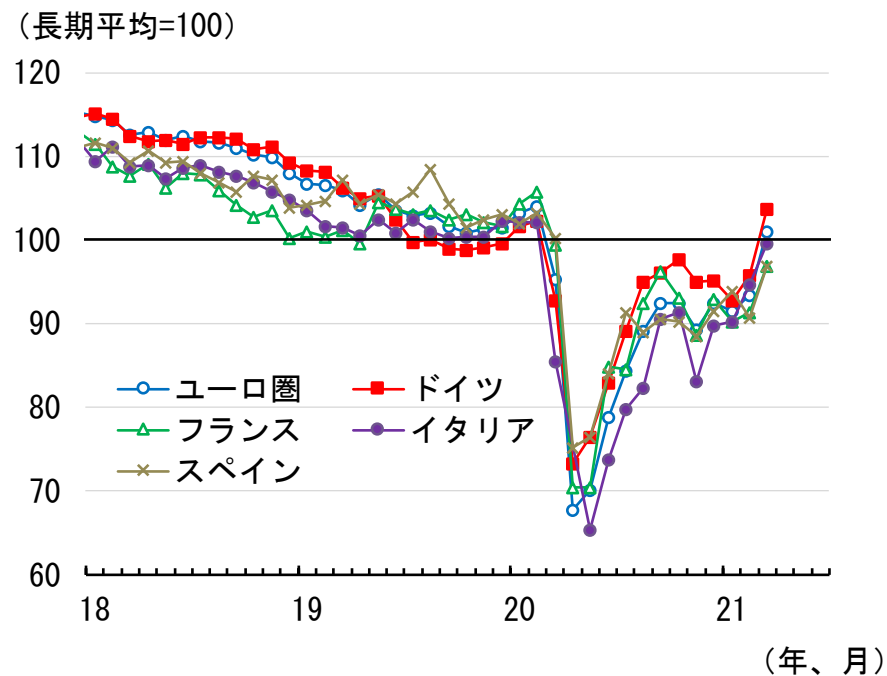
ユーロ圏の2020年10-12月期の実質GDP(確定値)は前期比-0.7%と、4-6月期以来となる減少に転じた。最新2021年3月の景況感指数は101.1と2ヶ月連続で上昇、2020年2月以来となる長期平均(=100)を回復した。新型コロナウイルスの感染拡大が続く一方で、製造業を中心に景気に対する楽観的な見方が広がった。

### 実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

### 景況感指数

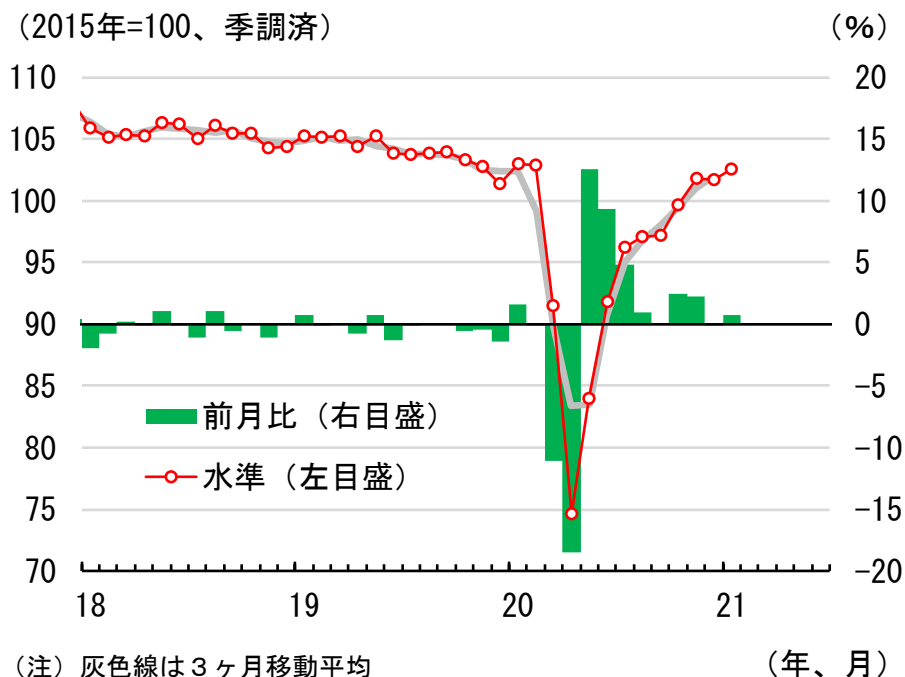


(出所) 欧州委員会ECFIN

## ユーロ圏景気概況② 生産は回復している

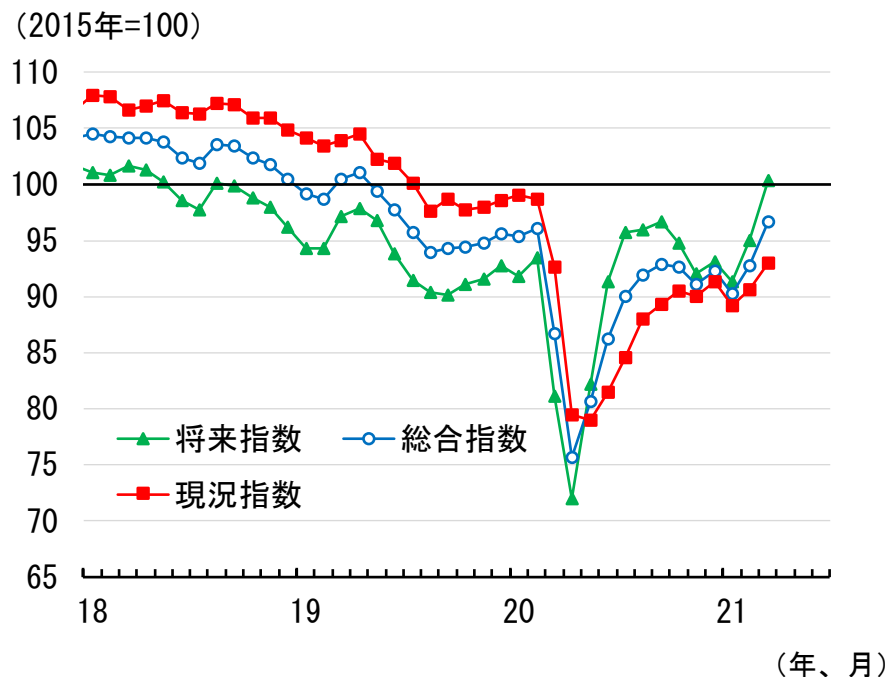
ユーロ圏の1月の鉱工業生産は前月比+0.8%と再び増加、増加基調を維持している。行動制限の強化を受け内需向けの生産が低迷した反面で、米中向け輸出にけん引された外需向けの生産が堅調だったとみられる。またドイツの3月のIfo景況感指数は96.6と上昇が続いた。現況と将来の両面で楽観を強めた。

### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所) ユーロスタット

### Ifo企業景況感指数



(出所) Ifo研究所

## ユーロ圏景気概況③ 消費は悪化している

ユーロ圏の1月の小売数量は前月比-5.9%と下振れし、減少基調を強めた。また2月の新車販売台数は前月比-1.1%の年率840万台と、低迷が続く。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限の強化を受けて、個人消費は悪化を余儀なくされている模様。

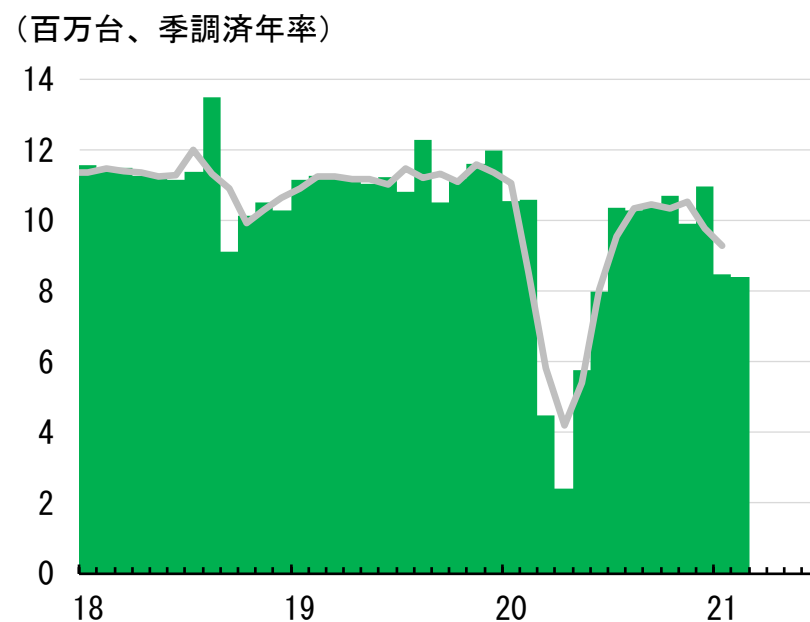
### 小売数量



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均 (年、月)

(出所) ユーロスタット

### 新車販売台数



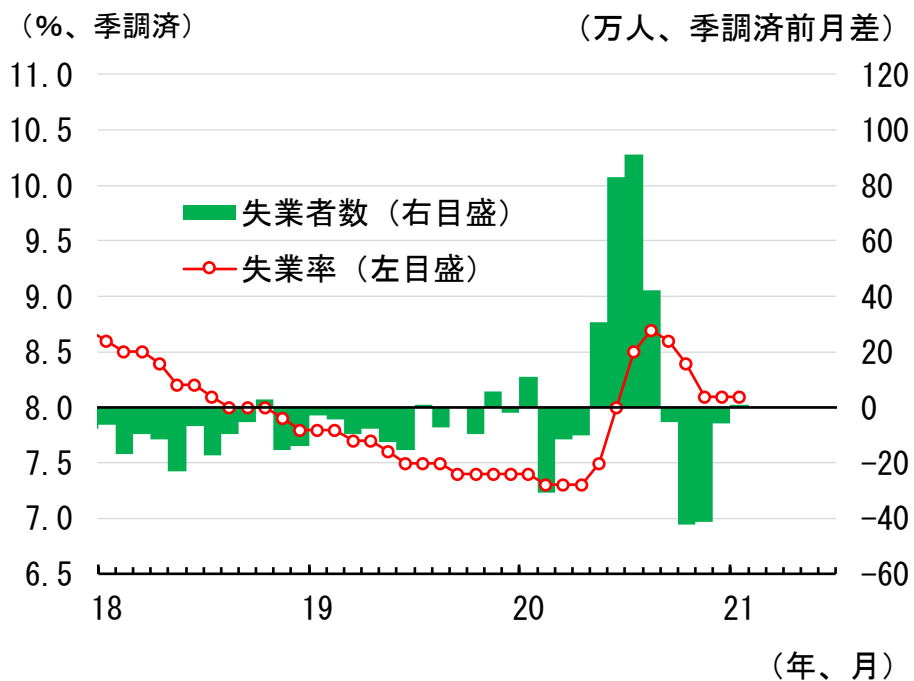
(注) 灰色線は3ヶ月移動平均 (年、月)

(出所) 欧州中央銀行 (ECB)

## ユーロ圏景気概況④ 雇用情勢は改善が一服

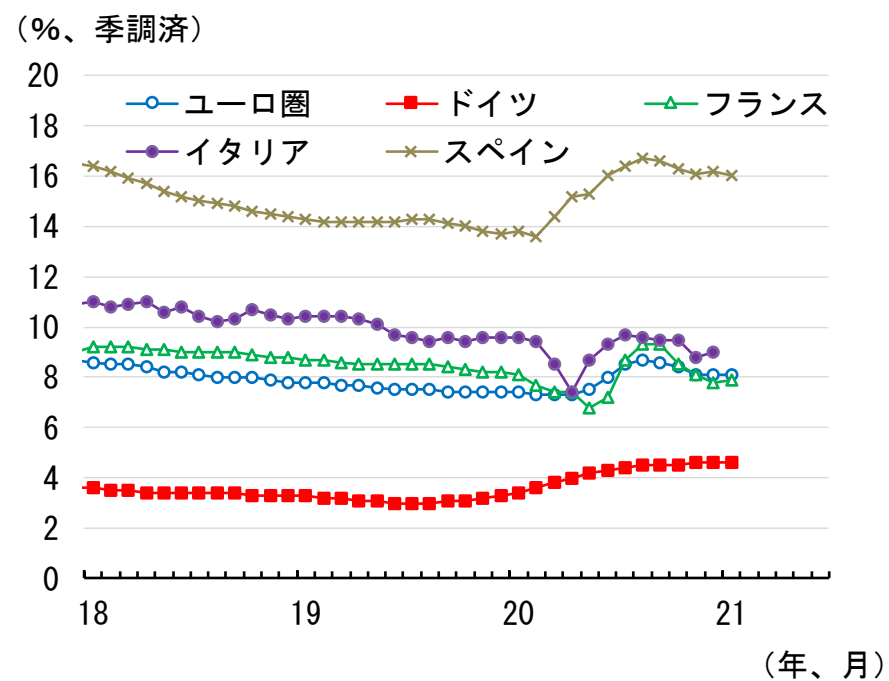
ユーロ圏の1月の雇用統計では、失業率が8.1%と3ヶ月連続で横ばいとなった一方、失業者数が前月比0.8万人増と8月以来の増加に転じた。主要国別に失業率を見ると、ドイツでは高止まりしている一方、その他の国々でも低下に歯止めがかかっており、改善が一服した。

### 失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

### 主要国別失業率

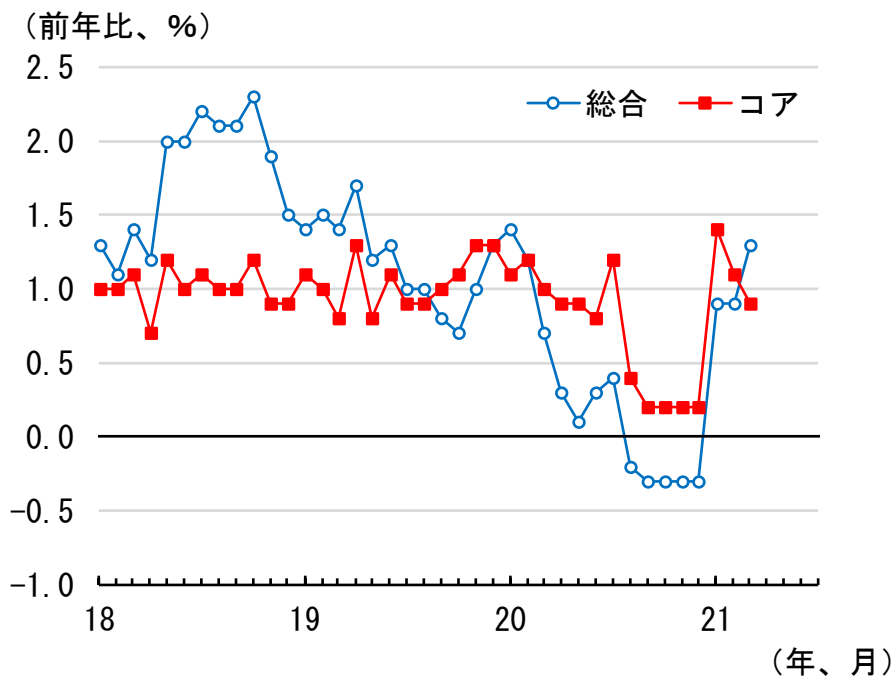


(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑤ 物価はインフレが加速している

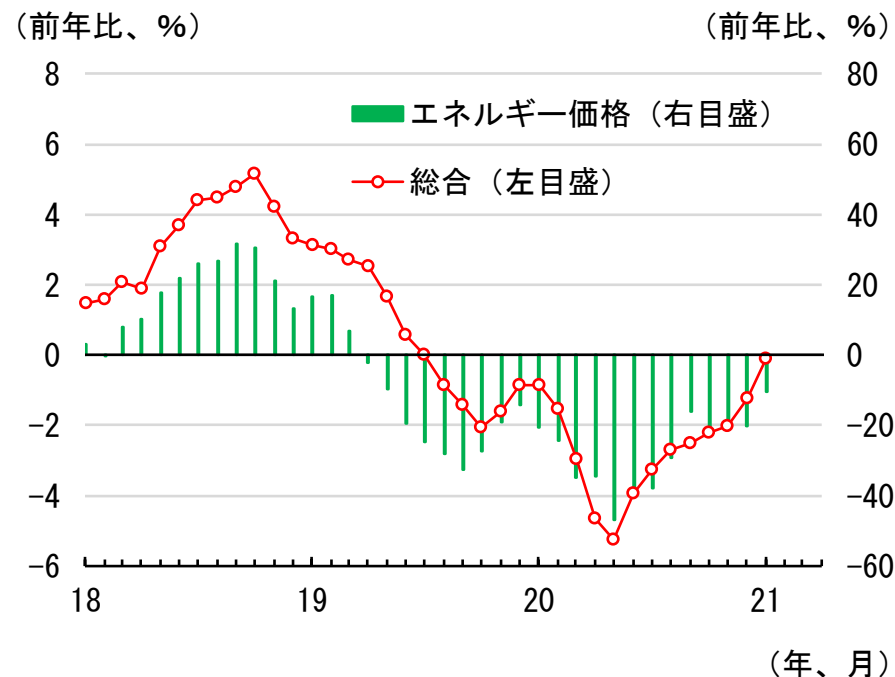
ユーロ圏の3月の消費者物価は総合指数が前年比+1.3%と伸び率を高めた。ドイツで減税措置が終了したことやエネルギー価格の上昇が、物価を押し上げた。先行指標になる生産者物価は1月時点で前年比-0.1%と、3ヶ月連続でマイナス幅を縮小させた。

### 消費者物価



(出所)ユーロスタット

### 生産者物価



(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑥ ECBは既往の金融緩和パッケージを維持

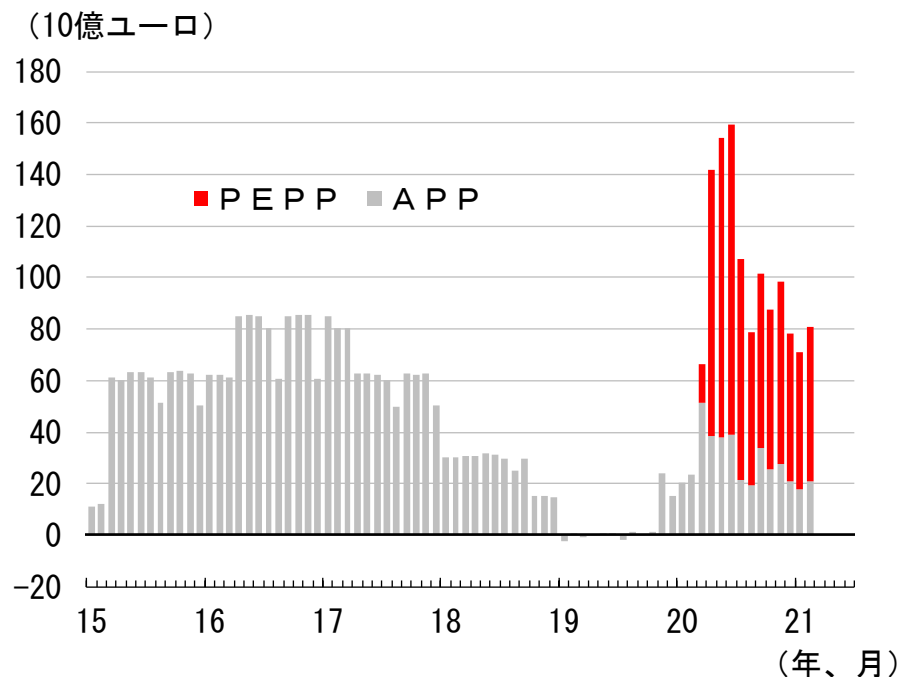
欧州中央銀行(ECB)は3月11日の政策理事会で既往の金融緩和パッケージを維持。他方で足元の金利高を抑制するため、PEPPとして実施している月次の資産買取を4-6月期は増額することを決定した。PEPPの枠組みで実施する月次の資産購入額は600億ユーロ程度から1,000億ユーロ程度に増える見通し。次回の理事会は4月22日。

### ECBの金融緩和パッケージ

ECBの2020年12月理事会での決定の概要	
政策金利の据え置き	主要政策金利を既往の年0.00%に、また貸出金利を年0.25%に、預金金利を年-0.50%にそれぞれ据え置き。
資産購入策の強化	危機対応策であるパンデミック緊急対応プログラム(PEPP)での資産購入額を5,000億ユーロ増額して総額1兆8,500億ユーロに拡大。また期間を9ヶ月延ばして22年3月まで延長。再投資の期間も少なくとも23年末まで1年延長。 既往の資産購入プログラム(APP)は月額200億ユーロでの購入をオープンエンド型で継続。
資金供給策の強化	危機対応策であるパンデミック緊急リファイナンスオペ(PETLRO)を21年に4回追加 預金金利(現在▲0.50%)をさらに0.50%ポイント割り引いた水準(現状▲1.00%)で行う期間3年の資金供給策(TLTRO3)は22年6月まで期間延長。

(出所)欧州中央銀行(ECB)

### 資産購入の推移



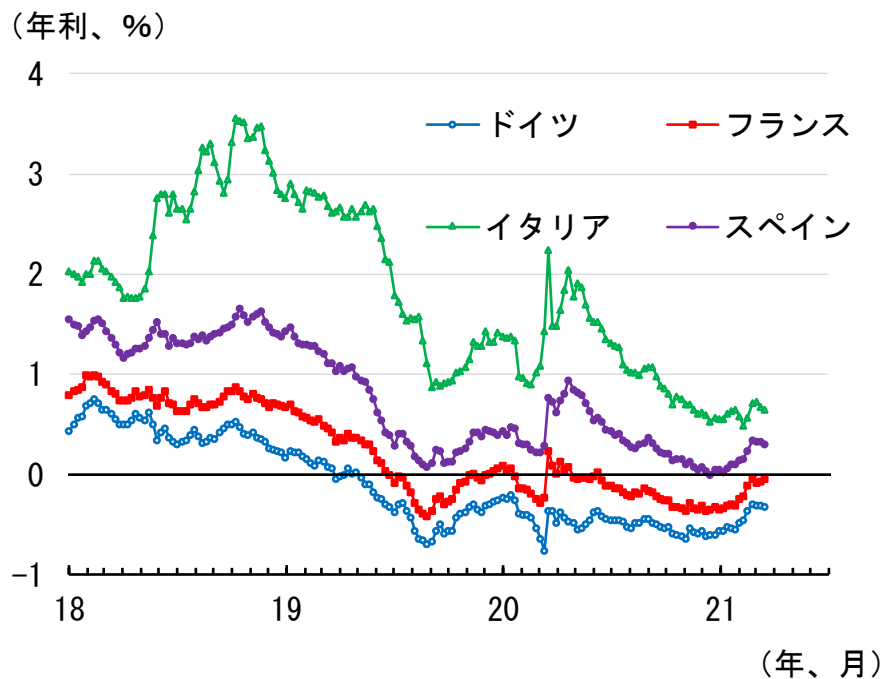
(出所)ECB



## ユーロ圏景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

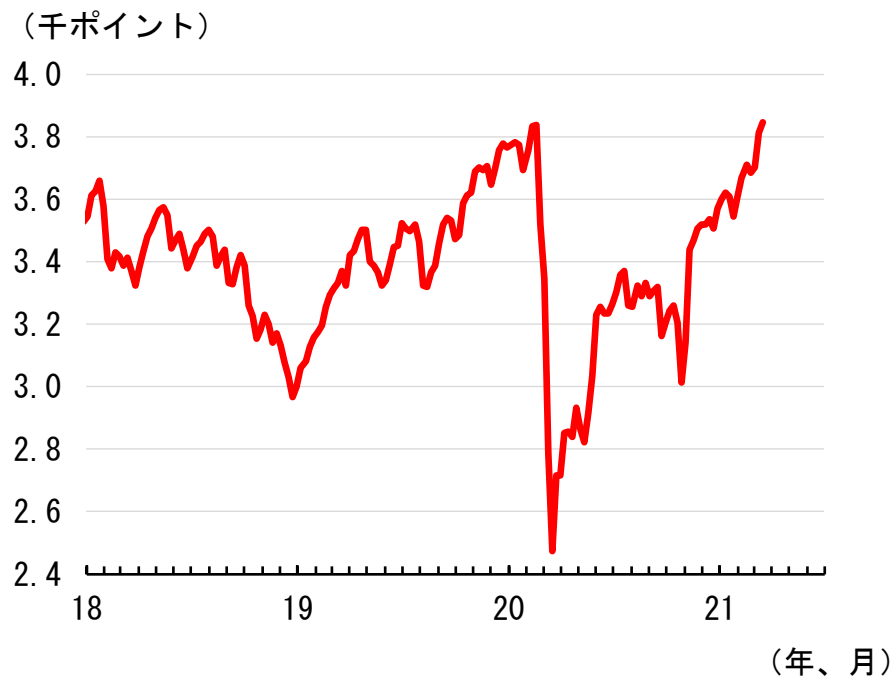
3月のユーロ圏の長期金利は緩やかに低下した。米金利の上昇が金利の上昇圧力になったが、ECBが3月の理事会で4-6月期に月次の資産購入を強化する方針を表明したことが、金利の低下圧力になった。株価(Eurostoxx50)はコロナ前の高値を回復した。ECBによる月次の資産購入の強化や世界景気の緩やかな拡大が好感された。

### 長期金利



(出所)ECB

### 株価(Eurostoxx50)

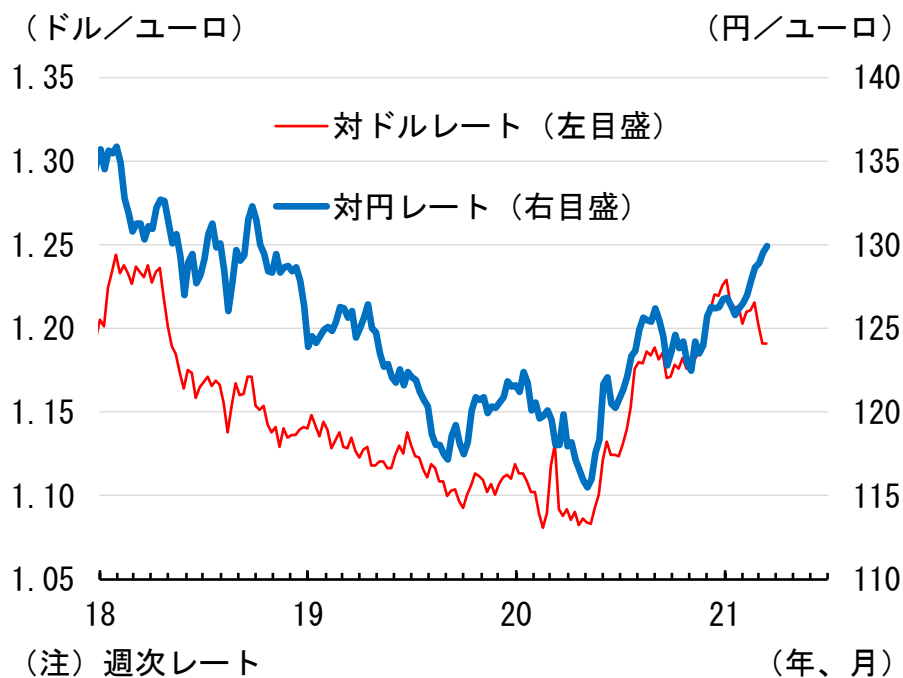


(出所)STOXX

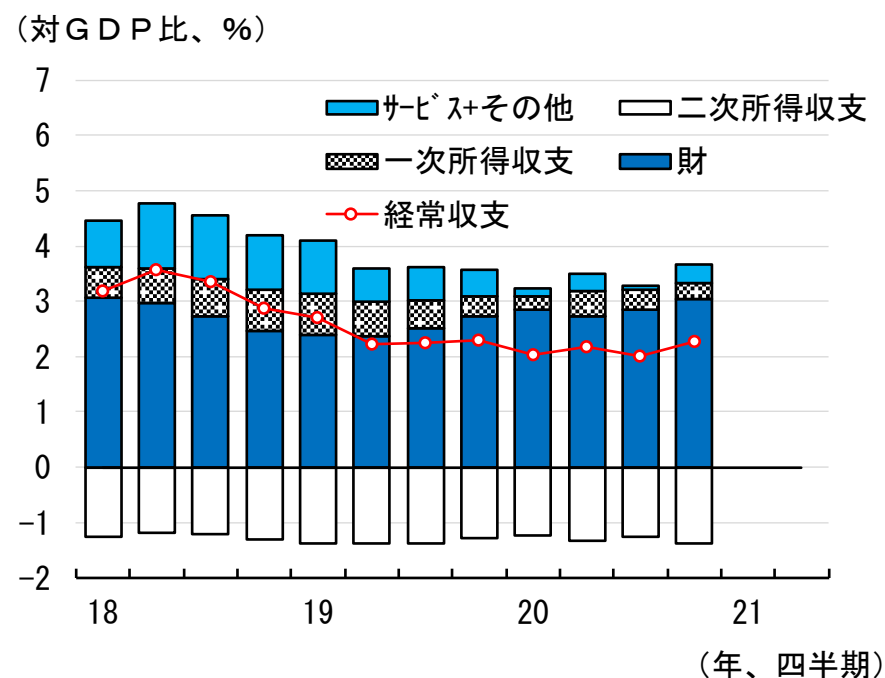
## ユーロ圏景気概況⑧ 対ドルでユーロ安、対円でユーロ高

3月のユーロ相場は対ドルでユーロ安、対円でユーロ高が進んだ。対ドルでは、景気回復期待を受けた米金利の上昇を受けてユーロ安が進んだ。一方、対円ではユーロが順調に上昇、月初の126円台から月末には一時129円までユーロ高が進んだ。国際収支をみると、輸出企業による実需買い圧力は堅調である。

### ユーロ相場



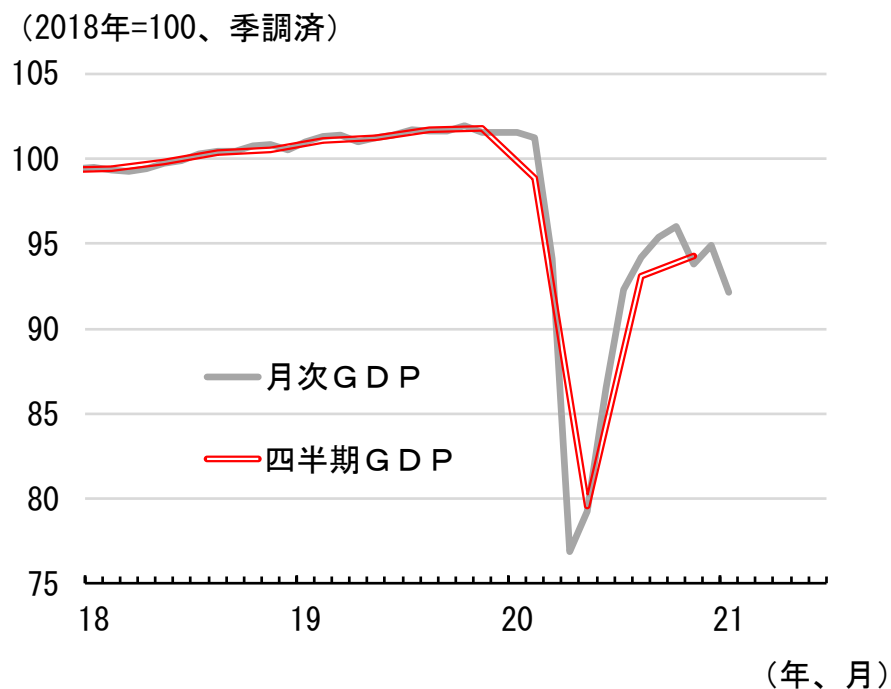
### 国際収支



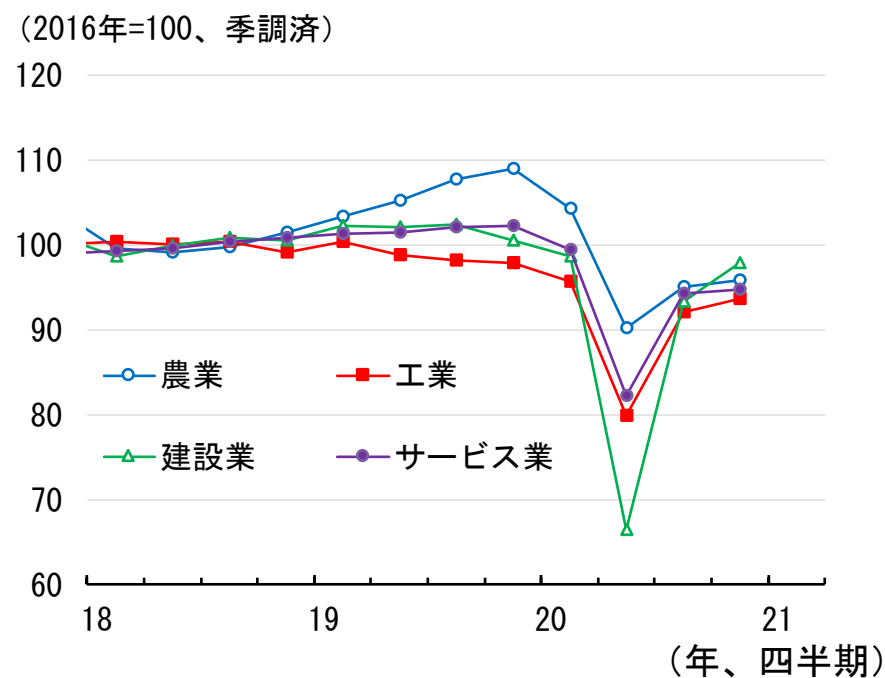
## 英国景気概況① 景気は停滞している

英国の2020年10-12月期の実質GDP(確定値)は前期比+1.3%と、2四半期連続でプラス成長を維持した。粗付加価値(GVA)を産業別にみると、建設業と鉱業は増勢が鈍化した一方で、サービス業と農業は横ばいだった。なお最新2021年1月の月次GDPは前月比-3.0%と再び減少、均した動きは下向きで推移している。

### 実質GDP



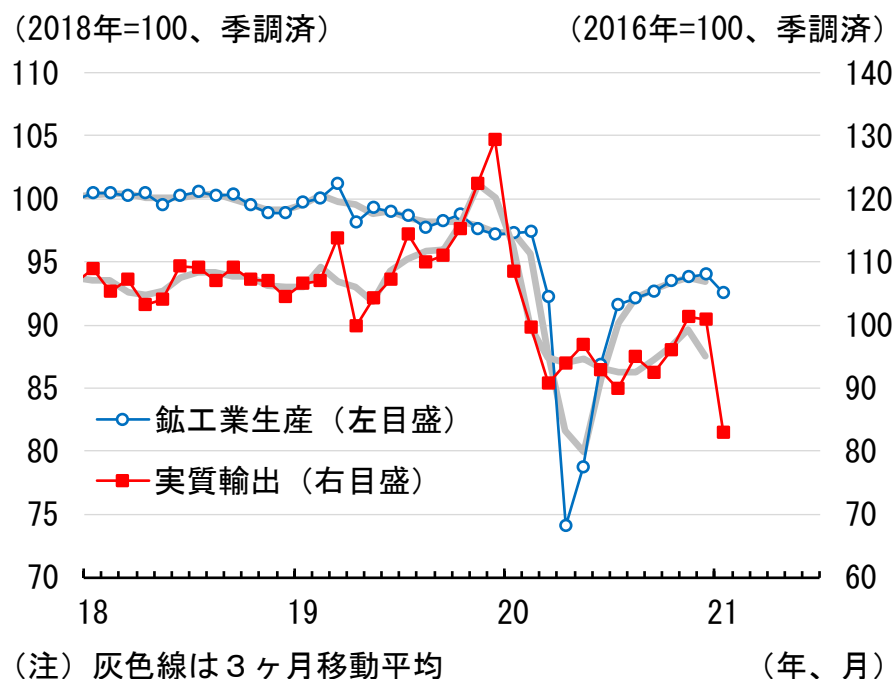
### 実質GVA(粗付加価値)



## 英国景気概況② 生産は頭打ち

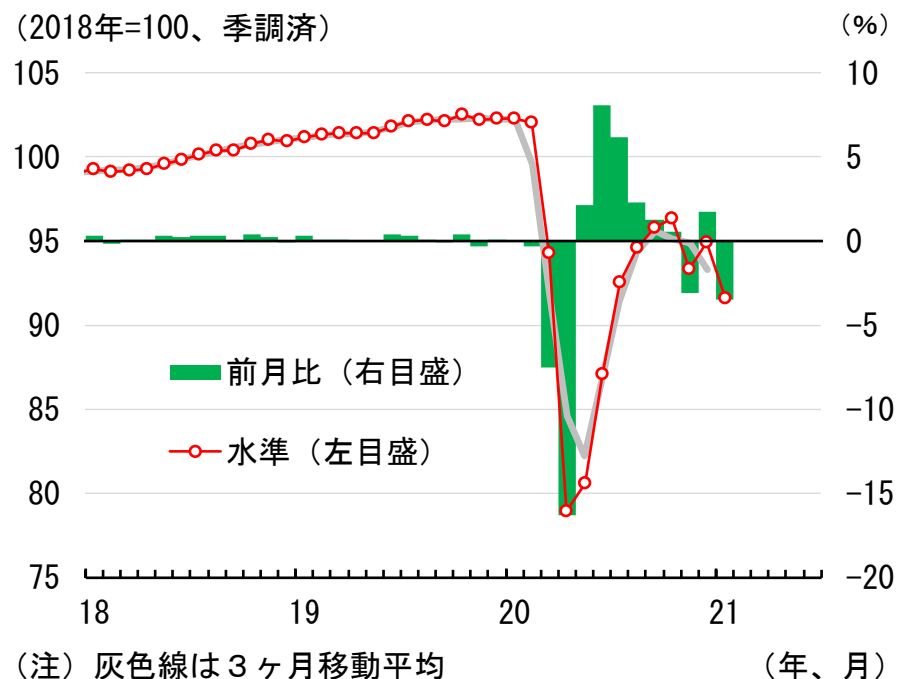
英国の1月の鉱工業生産は前月比-1.5%と20年4月以来の減少、均した動きも頭打ちとなった。また同月の実質輸出も同-17.6%と、20年1月以来の大幅な減少を記録した。移行期間の打ち切りを受けてEU向けの実質輸出は約4割減少した。他方で、1月のサービス生産は前月比-3.5%と再び減少、均した動きも下向きになった。

### 生産と輸出



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

### サービス業生産

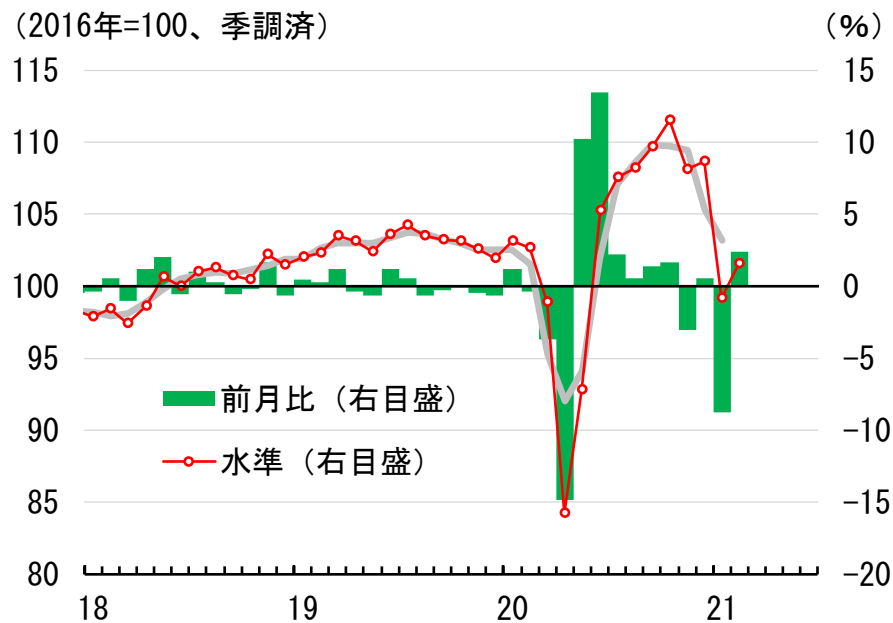


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

## 英国景気概況③ 消費は悪化している

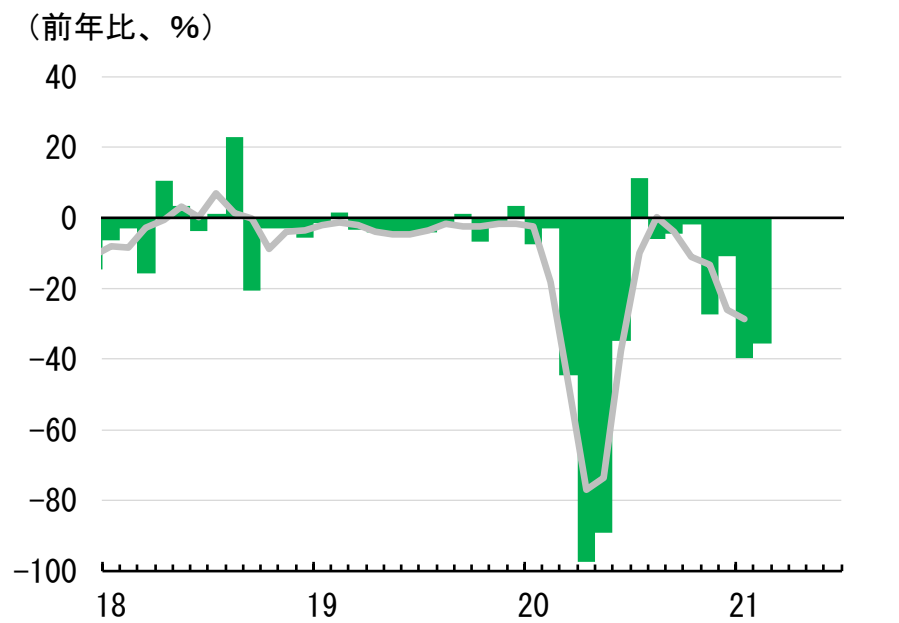
英国の2月の小売数量(除く石油)は前月比+2.4%と増加に転じたが、減少基調で推移している。また同月の新車販売台数(乗用車)は前年比-35.5%と、大幅な前年割れが定着している。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限の強化を受けて販売店の多くが営業を停止したことが主な理由。

### 小売数量(除く石油)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均 (年、月)  
(出所)ONS

### 新車販売台数(乗用車)

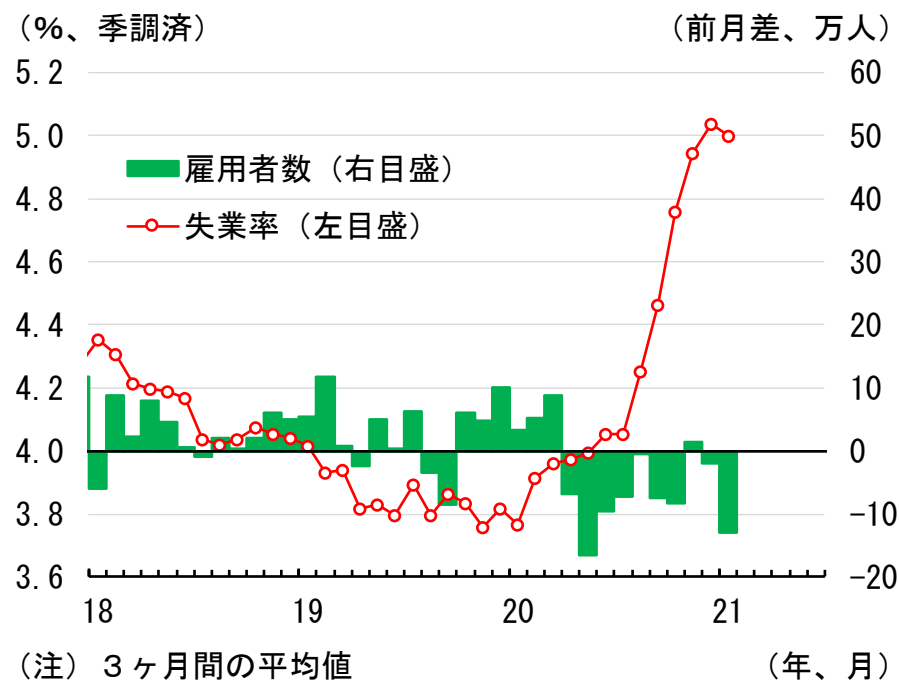


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均 (年、月)  
(出所)ONS

## 英国景気概況④ 雇用は悪化している

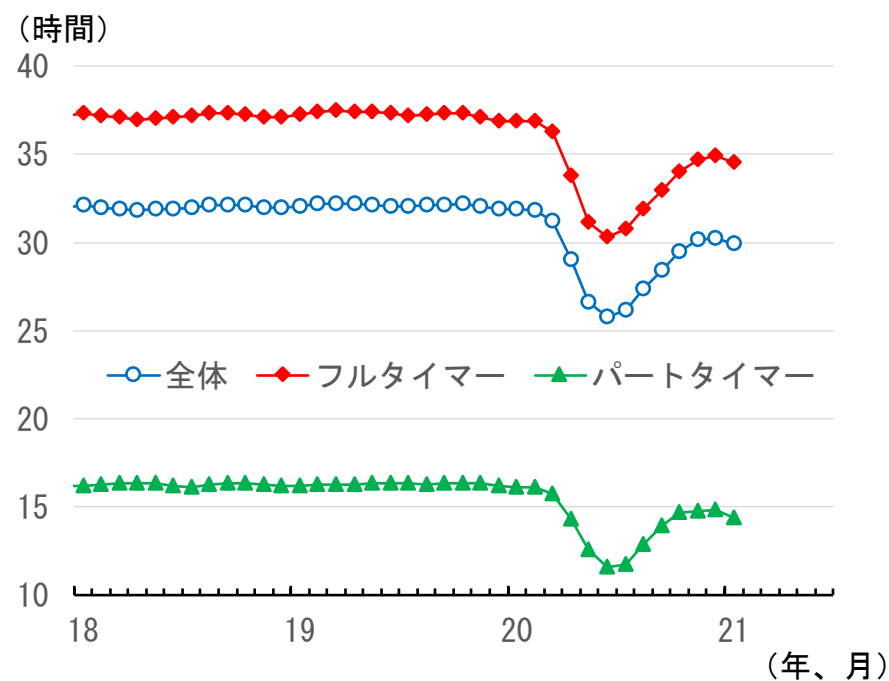
英国の1月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率は5.0%と高止まりとなり、雇用者数も前月比-12.9万人と減少幅が拡大した。一方で平均労働時間は29.9時間と20年6月以来の減少、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限の強化を受けて労働時間が減少した模様。

### 雇用統計



(出所)ONS

### 平均労働時間



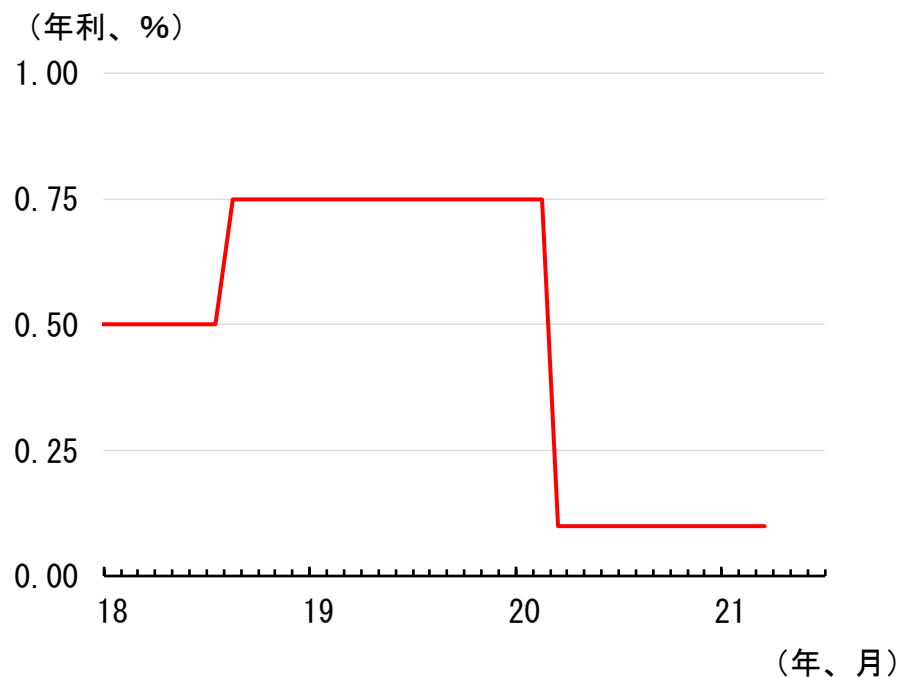
(出所)ONS



## 英国景気概況⑥ BOEは既往の金融緩和パッケージを維持

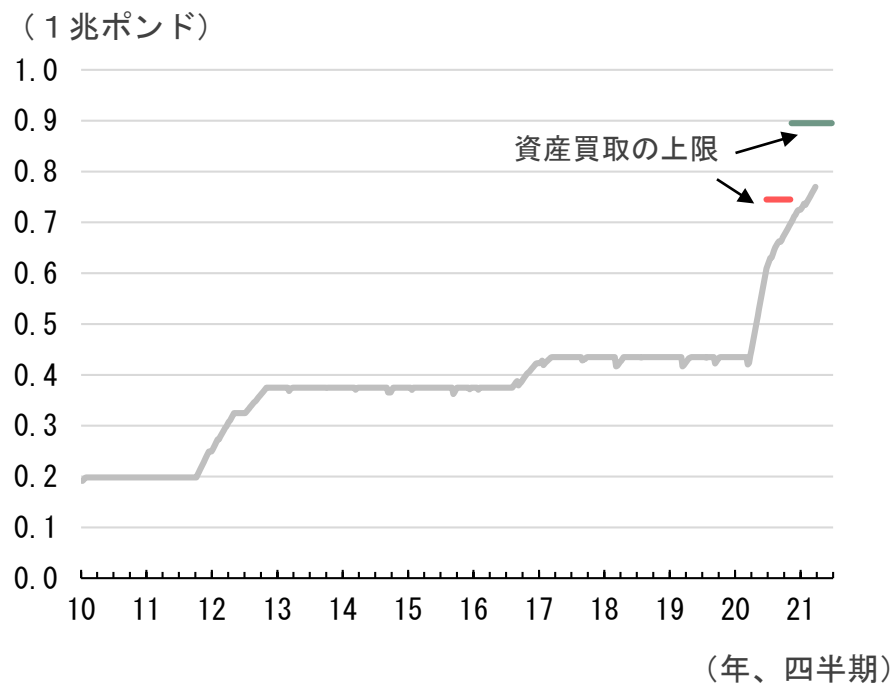
英中銀(BOE)は3月18日の金融政策委員会(MPC)で既往の金融緩和パッケージを維持し、政策金利(バンクレート)を0.10%に、資産買取プログラムの規模を8,950億ポンドにそれぞれ据え置いた。BOEは必要に応じ階層制によるマイナス金利の導入する意思を示したが、同策を導入するとのシグナルを送る意向はないと明確化(次回MPCは5月6日)。

### 政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

### 英中銀の国債保有高



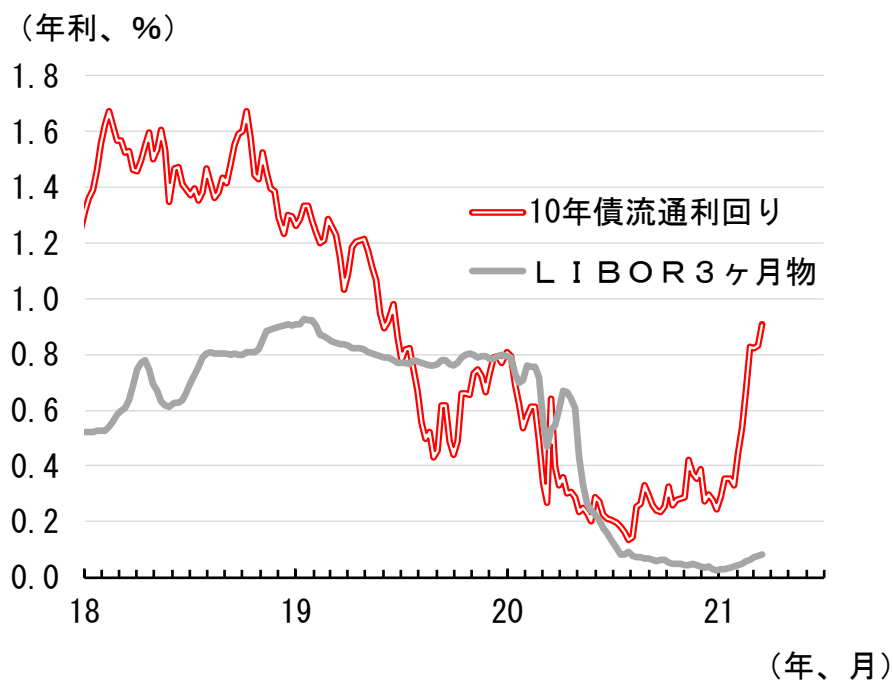
(出所)BOE



## 英国景気概況⑦ 長期金利は上昇、株価は強含みもみ合い

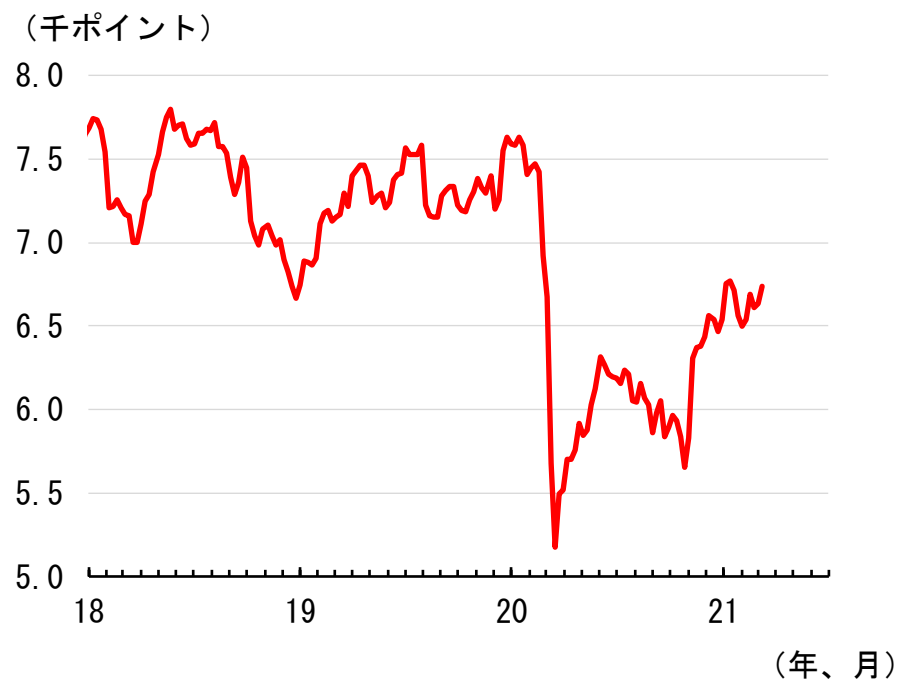
3月の英国の長期金利は上昇した。米金利の上昇に加えて、BOEの早期利下げ観測の後退などが材料になった。他方で株価は強含みもみ合いとなった。上旬は景気回復期待や商品価格回復を受けて金融株や資源株が上昇したが、下旬は長期金利の上昇や新型コロナウイルスの感染拡大が重荷となって下落した。

### 金利



(出所)BOE

### 株価(FT100指数)

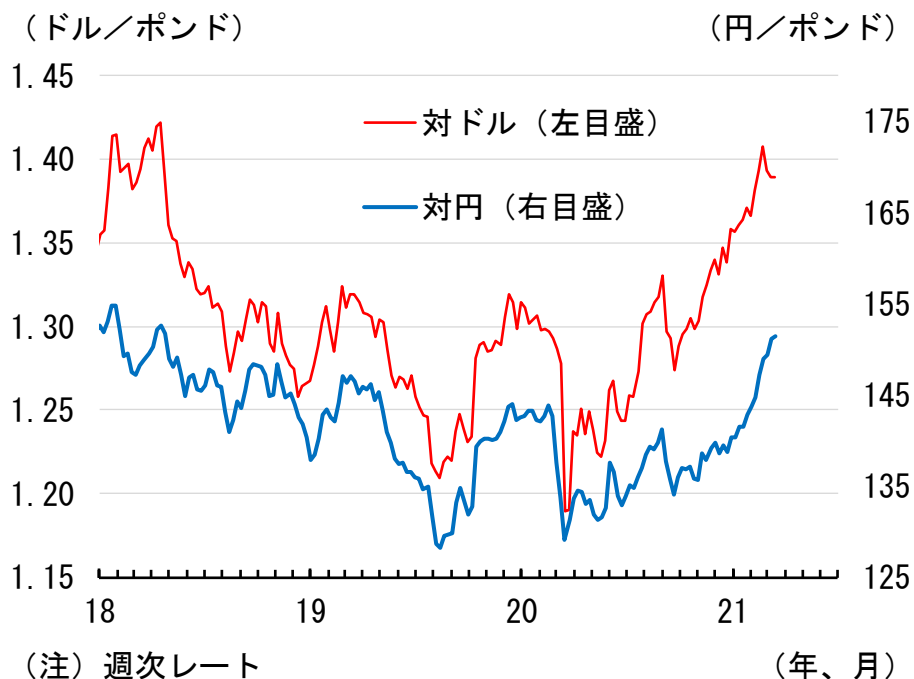


(出所)BOE

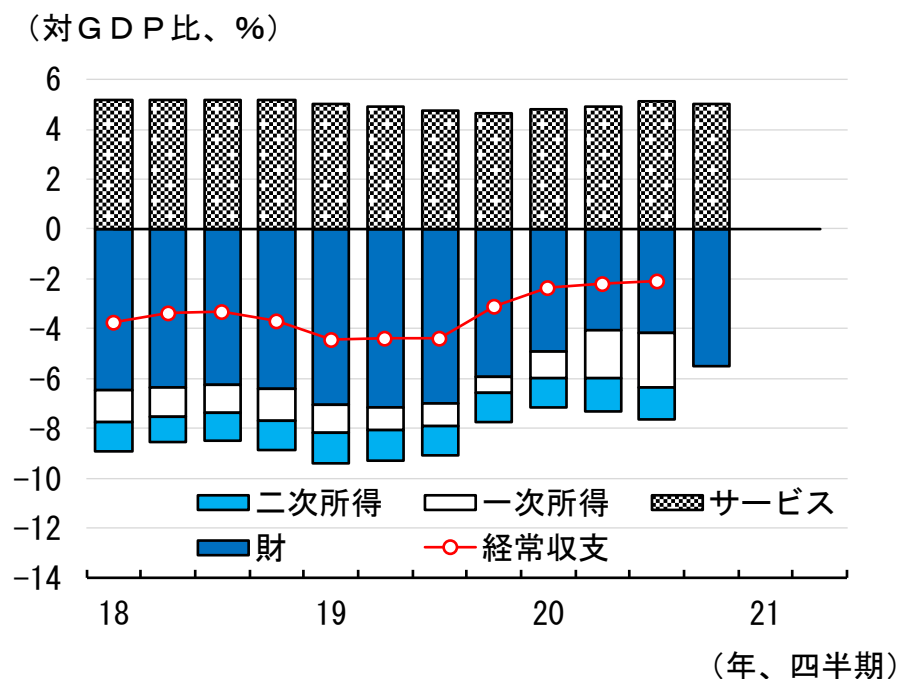
## 英国景気概況⑧ 対ドルでポンド安、対円でポンド高

3月のポンド相場は対ドルでポンド安が、対円でポンド高が進んだ。対ドルでは米長期金利の上昇を受けてポンド安が進んだ一方、対円では円安ドル高の流れを受けてポンド高が進んだ。英国の経常収支は足元で赤字を拡大させつつあるが、実需以上に投機的需要がけん引役となるかたちでポンド高が進んでいる。

### ポンド相場



### 国際収支



- 
- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
  - また、本資料は、講演者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
  - 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
  - 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
  - 本資料の全部または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。